

夏原の施工事例紹介vol.10

近畿大学病院

3億5000万円規模の大型案件を受注できた要因は、長年積み上げてきた京都・滋賀での実績と、大阪進出最初の現場で得た高評価でした。自社の手法を顧みるきっかけにもなった、重要な意味を持つ工事を振り返ります。



なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

全体を通して印象に残っていること

「凡事徹底」の重要性を再認識

この現場では、大林組の中でも特に役職の高い林所長と初めてご一緒しました。安全活動の実施状況や請求金額の算出方法など、すべてにおいて非常に厳格な方で、それまで当社で行ってしまっていたどんぶり勘定を大いに反省。パトロールの実施や自主検査の完了など、細かい記録を残し、それを元に金額を算出し請求するという、当たり前の流れを改めてしっかりと学べたことが大きな収穫でした。



現場名: 近畿大学医学部・
近畿大学病院新築工事 (A工区)

工期: 2024年2月～2025年3月

工事に関わった人数: 6600人

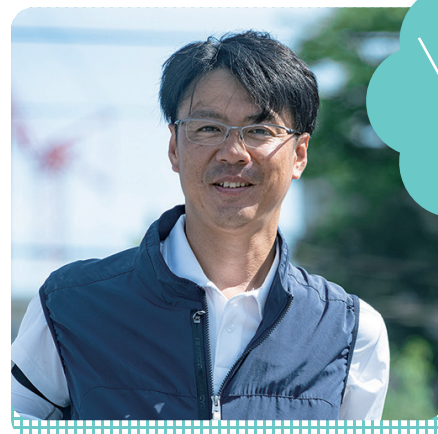
受注の経緯

「R & D国際交流センター」での高評価が、創業以来最大規模の工事受注のきっかけに

元請けの大林組とは長いお付き合いがあり、主に京都や滋賀の現場を任されていました。当時お世話になっていた所長が大阪へ移る際、「大阪にも来るか?」と声をかけてくださり、「ぜひお願いします」と即答。その流れで、2023年に大阪南港の「R & D国際交流センター」の仕事を請け負うことになりました。そこで改めて高評価を受け、近畿大学病院の現場にも呼ばれることが決まりました。

現場に携わってくれた皆さんへ

京都から堺市まで通うのは大変だったと思いますが、大きな現場だからこそ学びも多かったのではないのでしょうか。複数の病棟の一部ずつを並行して担当する難しい現場でしたが、中道さんと西浦さんがしっかりと管理してくれたことに感謝しています。



下地職長を
務めました!
なかみちつかさ
中道 師さん

現場での印象深いエピソード

ゼネコンの全面協力のもとで熱中症対策

工期は2024年2月から約1年におよぶもので、春夏秋冬をこの現場で過ごしました。夏の暑い時期には、1時間に500mlという目安で水分補給を徹底。1日にすると大量に必要となるため、元請けのゼネコンが病院内の自動販売機の数を増やしたり、飲料の値段を下げたりしてくださり、とても助かりました。



ボード職長を
務めました!
にしうら まさき
西浦 雅季さん

現場での印象深いエピソード

事故は言語道断!安全への意識づけを徹底

約1年にわたって行われた工事は、私が経験した中でも最大級の規模でした。会社のある京都から現場までは1時間20～30分かかり、毎朝通うのにもひと苦労……。現場は病院という施設柄、安全面に強い意識があり、職人さんへの注意喚起にも気を抜けませんでした。手袋や保護眼鏡など、防具を着用していない人には都度声かけを実施。怪我や事故への対策を徹底しました。

下地職長として気をつけたこと

入念なチェックで品質の均一化に注力

大きな現場で、5社が下地に関わり、階ごとに分けて作業を担当していました。そのため、仕上がりに差が出ないように、定期的に壁や天井の具合をチェック。各階を回ってコミュニケーションを取りながら、品質の維持を図りました。また、作業においては安全が第一。事故が起こらないよう、作業環境にも目配り、気配りを行いました。

現場に携わってくれた皆さんへ

会社のある京都から、大阪府堺市の現場まで通ってくれた皆さんに感謝しています。朝早くから現場に向かい、家に帰るまで事故をしないよう気を張り続けるのは大変なことだったと思います。つらい思いをさせて申し訳ありませんでした。また一緒に良いものを作る機会を楽しみにしています!

ボード職長として気をつけたこと

他社と連携しながら、見た目を美しく

私たちの作業は、内装の仕上げとしてお客様の目に入る部分が多くあります。例えば天井など、パッと見てきれいな印象を抱く仕上げになるよう心がけました。別のフロアでは他の業者が作業をしていたため、職長同士で仕上がりについて相談することも。その内容を自身が取りまとめる職人さんにも伝え、チーム全体で美しいボード施工を目指しました。

現場に携わってくれた皆さんへ

年末年始など、人手の変動もあった中、概ねスケジュール通りに進行できたのは皆さんのおかげです。現場が遠方で、大変な思いをした方も多いと思います。ご協力いただき本当にありがとうございました!



夏原のあのひとに聞きたいアレコレ

仕事のこと、人間関係のこと、日々感じている悩みや壁を乗り越えるためのアドバイスがここにあります！
解決の糸口や新たな気づきを得ることができるかもしれません。1人で抱え込まず、まずはこの相談室で
ヒントを見つけてみませんか？



相談者

よねだ まさし
米田 雅史さん



回答者

なかみち つかさ
中道 師さん

!!
Q 新しい現場が始まる時に
大事にしていることは
何ですか？

現場を進めるうえで、最初の打ち合わせが大事だと考えています。その際に中道さんが意識されていることや注意点を教えてください！

A

スムーズなスタートは「関係構築」と「安全な適正配置」

新しい現場が始まる時に大事にしていることは2点。1点目は、**他の職長さんたちとのコミュニケーション**です。打ち合わせだけでなく、雑談なども交えながら積極的に話すことで、お互いに話しやすい関係を**できるだけ早く作ること**を心がけています。相手の考え方や、臨機応変に対応するタイプかどうかなどを見極め、円滑に仕事を進めるための関係構築に役立てています。2点目は、現場での**安全確保と適正配置**です。怪我を未然に防ぐため、一人ひとりの能力や経験、得意不得意を考慮しなければなりません。それぞれに合った持ち場や作業になるよう留意し、皆が安全に、能力を発揮できるような配置を重視しています。



相談者

むらた じゅんや
村田 純矢さん



回答者

なかみち つかさ
中道 師さん

Q 仕事をする中で難しく考えたり、
イメージしたりしてしまうのですが、
中道さんはいつものような
意識で向き合っていますか？

中道さんはあまり深く考えすぎず、スムーズに作業しているように見えます。その秘訣を教えてください！

!?

A

現場経験の積み重ねが成長の鍵！

私自身は難しく考えること自体は悪いと思いません。考えが足りずに失敗することもあるからです。**一度しっかり考えたうえで作業を始める方が、結果的にうまくいくことが多い**と感じています。私の場合は、過去の経験を基に作業をイメージ。特に細かい図面を見るときには、どのように作業を進めるかをよく考えます。経験が浅いと、焦る気持ちもあるかもしれませんが、**まずは急がずに、じっくりと図面を理解し、安全かつ正確に作業することを第一にスタートすることをおすすめします**。経験を重ねることで、自然と効率的に考え、動けるようになるはず！



相談者

しみず たかし
清水 孝史さん



回答者

中村建装
ほそかわ ともじ
細川 智司さん

Q

**職長を担う際、
他業種とスムーズに
連携するために
意識していることは？**

細川さんの人間性もあるとは思いますが、他業種の方とも仲が良く、いつも周りに人が集まり、自然と輪ができていと感じています。ぜひ、日頃から心がけていることを教えてください！

!!

A

**情報の事前共有と段取りこそ、
効率的な作業への近道！**

他業種の方とは、いつどこで現場でどのような作業をするのか、事前に**工程について話し合い、情報を共有**しています。いざ作業を進めようと思ったときに「できない」となってしまうと、時間と労力を持て余してしまうこともあるでしょう。だからこそ、**段取りが大切です。作業日時を知らせて、それまでには前工程を終わらせてもらうように伝えています**。そのためにもコミュニケーションは重要なスキルの一つです。休憩と仕事時のオンとオフをしっかりと切り替えつつ、一人ひとりと向き合うようにしています。

Q

**体が資本の仕事だと思います。
長年この仕事に携わって
いる中で、普段の生活で最
も気をつけていることは？**

これからもこの仕事を続けていきたいので、参考にしたいと思っています！

A

**体質や調子に合わせた
ライフスタイルを貫く**

自分に合った食事と適度な睡眠でしょうか。朝昼は軽食で済ませるのが私のスタイル。これは、あまり食べすぎてしまうと**動きが鈍くなる**からです。夜はしっかり食べます。睡眠時間も平均5時間くらい。あまり長時間寝ると片頭痛を発症するので、翌日の仕事に支障がない範囲で夜更かしもしています。



相談者

中村建装
ほそかわ ともじ
細川 智司さん



回答者

なかむら しげはる
中村 重治さん

Q

**現場で職長を担う際、
どのようにすれば効率良く
現場を回せるでしょうか？**

私も中村さんのように、うまく現場を回せるようになりたいと思っています。特に人員配置について、詳しく教えてください！

!?

A

**急ぐべきところを常に把握し、
こまめに対策することがポイント**

まずは現場全体を見て、**急ぐところとそうでないところを見極めることが重要**。耐火壁など、最初に急ぐべき箇所はだいたい決まっています。そこに多めの人数を投入したり、手の早い人を配置したりすることで、開始直後がスムーズになるはず。また人員配置の際は、**作業スピードが同じくらいの人や、性格的な相性の良い人同士を組ませると**、うまく回りやすくなると思います。そして現場が進み始めてからは、**常に工程表を確認するようにしましう**。全体の進捗をしっかりと把握することで、今はどこに人数を割くべきかが見えてきます。